



# わかばと

校訓：自主・積極



令和8年2月10日

校長 西山 敏明

新制服ワッペン  
若鳩と小野平野の稲穂がモチーフ

学校教育目標：自他を認め、共に高め合う生徒の育成

## 3学期、1年間のまとめの時期を過ごしています。

2月3日の立春が過ぎ、暦の上では春を迎えました。しかし、実際にはまだまだ寒い日が続いております。特に東北地方をはじめとする雪国では、記録的な積雪により困難な生活を余儀なくされている方々も多くおられます。豪雪地帯の方々に思いを馳せつつ、本校においても、確かな春の訪れを心待ちにする今日この頃です。

**【3年生、それぞれの路(みち)へ】**さて、学校はいよいよ一年の締めくくりとなる大切な時期を迎えるました。3年生は2月3日・4日に、中学校生活最後となる定期テストを終えました。現在は私立・公立高校の入試が着々と進んでおり、来週17日・18日には公立高校の一般選抜という大きな節目を控えています。これまで積み重ねてきた努力は、決して皆さんを裏切りません。当日は自分を信じ、落ち着いて試験や面接に臨んでほしいと願っています。教職員一同、皆さんが持てる力を出し切れるよう、心から応援しています。

**【一年の学びを振り返る】**1・2年生にとっても、これまでの積み重ねが形となって現れる重要な時期です。「日々の生活規律や礼儀正しい挨拶」「授業に集中する姿勢」「責任ある係活動」そして「仲間への思いやり」…。そうした日々の営みの積み重ねが、生徒一人一人の確かな成長として、今の姿に現れています。3年生が受験に挑む17日・18日、1・2年生は「学年末テスト」を実施します。この一年の集大成として、今の自分の力を存分に発揮してくれることを期待しています。また、12月に実施した「標準学力テスト(1、2年)」の結果を返却いたします。今回の学年末テストの結果とあわせて、お子様の学力の定着度合いについてぜひご家庭でも話題にしていただき、次年度への希望あるステップとしていただければ幸いです。

## SNS時代だからこそ「手触り感のある子育て」を 親の責任と、子への眼差し

現在全国的に、**SNS上での「暴力行為や誹謗中傷、いじめの動画投稿・拡散」という極めて深刻な問題が相次いで発生しています。**

文部科学省からも緊急の要請があり、この問題は「どこか遠くの出来事」ではなく、「いつ、どの学校でも起こり得る」喫緊の課題です。



### 【SNSは「刃」にも「盾」にもなる】

SNSは便利ですが、一歩間違えれば誰もが加害者・被害者になり得ます。**スマートフォンの所有・利用は保護者の管理責任のもとにあり、万が一トラブルや誹謗中傷が発生した際は、当事者間(家庭間)での責任ある解決が求められます。**投稿や拡散は、取り返しのつかない人権侵害や一生の傷跡を残すことを忘れてはなりません。

### 【学校の取組、家庭での対話】

**実態把握と教育**：アンケート等でSOSを把握し、情報モラルの指導を継続します。

**家庭での管理徹底**：**子どもがスマートフォンを使用する時間は、学校外のご家庭や放課後の時間です。ぜひこの機会に、ご家庭でも以下のポイントを話題にしてみてください。**

**個人情報の管理**：実名や位置情報、顔写真などの設定は安全か。

**他者への想像力**：「これを送ったら、相手はどう思うか」という心のブレーキ。

**相談できる関係**：「何かあったとき、真っ先に大人に話せる」安心感。



### 「手触り感のある子育て」をともに

大切なお子様をトラブルの当事者にしないため、今一度「家庭でのルールと責任」を親子で話し合ってください。SNSの利用は保護者の監督責任が伴うものです。学校とご家庭がそれぞれの責任ある立場で連携し、子どもたちがSNSの危険にさらされることなく、安全に可能性を伸ばせる環境を一緒に整えていきましょう。

## 令和7年度 第2回「学校評価アンケート」結果をお伝えします。

回答数 教員:15 生徒:106 保護者:81 ※目標値3.2(80%)以上

評価項目	番号	評価内容	職員			生徒			保護者		
			R6		R7	R6		R7	R6		R7
			2回	1回	2回	2回	1回	2回	2回	1回	2回
①地域とのかかわりについて	1	地域でのあいさつ	3.1	3.1	3.0	3.4	3.5	3.5	2.9	2.8	2.8
	2	地域行事への参加	3.1	3.1	3.1	2.7	2.8	2.7	2.9	2.8	2.8
	3	地域への関心	3.3	3.1	3.1	2.6	2.6	2.7	2.6	2.3	2.6
	4	学校だより等での情報発信	3.8	3.8	3.9	3.3	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3
	5	職員の地域活動等への参加	3.1	3.1	3.3				3.3	3.3	3.2
	6	職員の地域との関り	3.3	3.5	3.3						
②生き方の学習について	7	進路指導、進学指導への取組	3.4	3.5	3.5	3.2	3.3	3.4	3.1	3.1	3.1
	8	将来に関わる講話や体験活動	3.6	3.7	3.7	3.3	3.4	3.4	3.1	3.1	3.0
	9	夢や希望を促す取組	3.5	3.3	3.5	3.1	3.3	3.2	2.8	3.0	2.8
	10	将来に向けての礼儀作法やマナー指導	3.6	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.0	3.0	2.8
③学力の向上について	11	授業の「めあて」の提示	3.3	3.5	3.5	3.5	3.7	3.6			
	12	授業の「まとめ」「振り返り」の場の設定	3.0	3.4	3.5	3.3	3.3	3.3			
	13	授業の見通しの提示					3.4	3.5	3.4		
	14	わかりやすい言葉やICTの活用	3.1	3.4	3.5	3.3	3.2	3.2			
	15	思考・グループ活動の場の設定	3.1	3.2	3.1	3.4	3.7	3.6			
	16	自主学習ノートの取組					3.0	3.3	3.1		
	17	「きくこと」を意識した授業参加					3.3	3.4	3.4		
	18	身につけさせたい学力の明示	3.3	3.5	3.3				3.0	3.0	2.9
	19	学力向上のための取組の明示							2.9	3.0	3.0
	20	学力向上のための家庭・小学校との連携	3.1	2.9	3.0						
	21	学力向上にかかるデータの活用	3.1	3.3	3.4						
	22	家庭学習の仕方の提示							2.8	2.9	2.9
	23	「小野中スマホルール」の遵守					3.0	3.2	3.1	2.6	2.7
④一人一人を大切にする指導について	24	一人一人への観察				3.3	3.4	3.1			
	25	不安や悩みの理解	3.4	3.3	3.5	3.2	3.3	3.1	3.0	3.1	2.8
	26	性格や特性にあった指導	3.3	3.3	3.5	3.2	3.4	3.1	3.0	3.0	2.9
	27	ほめて認める指導	3.6	3.6	3.4	3.3	3.5	3.2	3.1	3.2	3.0
	28	教職員・家庭との情報の共有	3.8	3.9	3.8						
⑤いじめ防止について	29	家庭での会話							3.2	3.3	3.1
	30	いじめ防止基本方針の明示、理解	3.7	3.7	3.7				3.1	3.1	2.8
	31	いじめの早期発見	3.7	3.7	3.7	3.3	3.5	3.3	3.1	3.1	2.8
	32	いじめを許さない雰囲気	3.3	3.1	3.1	3.2	3.2	3.0	3.0	3.0	2.7
	33	いじめ対応への理解	3.6	3.8	3.7						
	34	いじめへの発言や行動				3.4	3.3	3.4			
⑥生徒会活動について	35	いじめ防止のための環境、相談窓口				3.3	3.4	3.4	3.1	3.0	2.8
	36	自主的な生徒会活動	3.3	3.6	3.8	3.4	3.5	3.6			
	37	積極的なボランティア活動	3.3	3.3	3.6	3.3	3.4	3.4	3.1	3.3	3.1
	38	生徒会活動による責任感の伸長	3.4	3.3	3.5				3.3	3.3	3.2
	39	人権尊重やいじめ根絶にかかる活動	3.4	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6			
	40	生徒会活動による協調性の伸長	3.4	3.3	3.5				3.2	3.1	3.1
	41	生徒会活動への積極的参加				3.1	3.4	3.3	3.1	3.3	3.2

「個への観察」「悩みの理解」等の生徒評価（3.1）が昨年度より低下し、目標値を下回った。教職員の認識と生徒・保護者の実感との乖離が課題である。 ➡(改善策)自由記述の指摘を真摯に受け止め、全職員が自らの言動を省みる。アンケート等で実態把握を徹底し、個々の良さを本人や家庭へ実感として届ける「公平で丁寧なコミュニケーション」を組織で実践する。

## 5. いじめ防止について

保護者評価が昨年度より低下し、目標値を下回った。生徒の「いじめを許さない雰囲気（3.0）」も未達であり、学校の取組が安心感として十分伝わっていない。 ➡(改善策)迅速なフィードバックにより対応の透明性を高める。SNSトラブルへの対処と信頼関係構築を最優先とし、道徳・人権教育を通じ、差異を尊重する価値観を育む指導とその発信を強化する。

## 6. 生徒会活動について

各指標で教職員・生徒・保護者の三者が「活性化」を認める極めて良好な結果となった。特に教職員・生徒は全項目で昨年度を上回り、活発に展開されている。 ➡(改善策)現状は担当職員と生徒会執行部の献身に負う所が大きく、一般生徒の「自分事」化に課題がある。一部への過度な負担を是正し、専門委員会の裁量を広げる等、全生徒が主役となる仕組みを整え、教職員は「伴走者」として支援する。

### 3月の予定

2日（月）生徒会行事	22日（日）家庭の日(部活動中止)
5日（木）公立高校一般選抜合格者発表	23日（月）大掃除・生徒会集会
10日（火）第79回卒業証書授与式	・表彰伝達
12日（木）公立高校チャレンジ選抜	24日（火）修了式・離任式
17日（火）公立高校チャレンジ選抜合格者発表	専門委員会

## 1. 地域とのかかわりについて

「情報発信」は高く評価された一方で、「地域行事への参加」や「地域への関心」は低く、依然として大きな課題である。

➡(改善策)HP等で生徒の活動を具体的に紹介し、地域への関心を高める。総合的な学習を軸に地域住民との協働を深め、社会の一員としての自覚を育む。

## 2. 生き方の学習について

生徒・教職員は目標を超える水準だが、保護者評価は未達である。活動成果が家庭の実感にまで届いていない。

➡(改善策)体験後の振り返りを深め、自己を見つめる時間を確保する。キャリア教育のねらいや生徒の変容を保護者へより具体的に発信する。

## 3. 学力の向上について

授業改善については、教職員、生徒で肯定的だが、保護者による「スマホルールの遵守（2.5）」は全項目の中で最低値であり、家庭での利用が深刻である。

➡(改善策)長時間視聴等のリスク等について、育友会や専門家と連携した啓発を強化。学校・家庭一体で適正な利用と安心な環境づくりを推進する。

## 4. 一人ひとりを大切にする指導について

### 来校予定日

○スクールカウンセラー(篠原先生)
13日(金)
○心の相談員(平間先生)
2日(月)、4日(水)、10日(火)、11日(水)、16日(月)、18日(水)、23日(月)
○ALT(キラン先生)
4日(水)、11日(水)、18日(水)